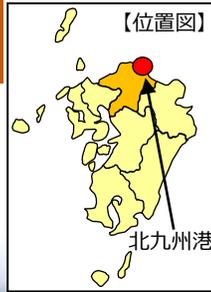


岸壁の老朽化対策により、海上交通機能を確保する (福岡県北九州市)

事業者：国土交通省 九州地方整備局



対策名：87 港湾における老朽化対策

主たる施策グループ：5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線道路や新幹線が分断するなど、基幹的陸海上航空交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響



事業名：北九州港予防保全事業

- ポイント**
- 岸壁の老朽化対策として、上部工や舗装工等を実施
 - 平時・災害時における港湾の安全を確保し、海上交通ネットワークを維持

地域の概要・課題

北九州港響灘東地区の岸壁（水深10m）は、築造後40年以上経過し、老朽化によるエプロンのクラックや沈下による水たまり等が発生していました。平時・災害時ともに、その場所では船荷の揚げ降ろしを行う荷役が出来ないために荷役場所に制限をかけるとともに、制限区域をダンプトラック等が迂回する必要があり、非効率な荷役となっていたため背後企業の企業活動が制約されていました。

事業の概要

令和2年度に5か年加速化対策として事業を前倒しして実施しました。予防保全型維持管理の実現に向け、老朽化対策としてエプロンのクラックや沈下を解消するべく、舗装全面の打ち替え、防舷材や係船柱等の取り換え等を実施しました。



効果

岸壁（水深10m）の上部工や舗装工等の老朽化対策を完了したことで、当該岸壁の荷役機能を回復させ、港湾の安全な利用を確保しました。

これにより、荷役場所の制限やダンプトラック等の迂回による非効率な荷役を解消することができました。

対策前と対策後では、当該岸壁の年間取扱貨物量は約48%増加しており、企業活動にも貢献しています。

また、災害時においても継続して安全な利用が可能です。



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
 (1) 人命・財産の被害を防止するための対策
 (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス
 への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靭化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
 デジタル強靭化に関する施策の

(2) 伝達の高連情報予測、収集・集積